

仙台市長杯仙台市ポッチャ大会のご案内

1. スケジュール

9:30	コート解放（準備ができ次第、前倒して解放します）
9:30～9:50	受付開始（受付の準備ができ次第前倒しします）
10:00～	開始式
10:30～12:30	予選リーグ
12:30	決勝トーナメント抽選
（昼休憩）	※昼食は各自ご用意ください。※昼休憩時間以外の試合間でも適時休憩可
13:00～	決勝トーナメント（準々決勝、準決勝、決勝、三位決定戦）
13:45	表彰式（全チーム参加）
	解散（各チームは参加賞をお受け取ってください。）

2. 持ち物・服装

室内用シューズ、運動に適した服装、防寒着、体調チェック票 兼 変更届

3. 試合について

- ①試合のコートは、正式コート（12.5m×6m）を使用します。
- ②試合の組み合わせは、P5『仙台市長杯仙台市ポッチャ大会組み合わせ』のとおりとなります。
- ③試合は、5チームによる予選リーグとし、予選各リーグの上位2チーム、及び、3位のうち上位2チーム（勝敗数、得失点差、総得点による）の合計8チームによる決勝トーナメントを実施します。

4. 連絡事項

（1）受付

- ・チーム代表者が『体調チェック票 兼 変更届』（チーム名、チーム参加者（応援の方含む）の大会当日の朝の体温と体調を記入）を提出してください。
※申込メンバーに変更がある時は、この用紙に記入して提出ください。
- ・急遽、メンバーに変更がある場合は変更が可能です。『体調チェック票 兼 変更届』提出時に、変更後のメンバー名を記入して提出してください。
- ・介助ビブスが必要な場合は申告してください（※コロナ対策のため使いまわしは不可）。「介助ビブス」をお渡ししますので試合中に着用してください。退場時は回収ボックスに入れてください。

（2）試合・進行

- 1) 招集は、各チームで『組み合わせ』を確認し、試合順が来たら3名で集合ください。
※介助者等がいる場合は、介助者も集合ください
- 2) スコアシートのチーム名の確認してください。
- 3) 試合終了後、結果の確認をお願いします。
- 4) 予選リーグ終了後、決勝トーナメントに進出チームの組み合わせ抽選を行います。

(3) その他

1) 休憩場所として、宮城野体育館 2 階の会議室 (1) (2) を、10:30~13:30 まで開放します。昼食や休憩等でご使用ください。ただし、席に限りがございますので、譲り合ってください。

2) 視覚に障害のある選手への対応は、ご希望を伺いながら以下の対応を予定しています。

- ① ジャックボールの後ろ側で、電子ホイッスル、手ばたきで、位置・方向を知らせる
- ② コートの中に誘導し、各ボールの位置・距離感を確認
- ③ ホワイトボードでジャックボール等の位置を磁石で示し、触れて把握
- ④ ボールと選手をロープで結び、方向性や位置を把握

3) ランプ使用者への対応

ランプが必要な場合、用具を貸出します。ただし、アシスタントは各自とします。

5. 表彰

- ・優勝、準優勝、第 3 位、第 4 位には、賞状のほか副賞を贈呈します。
- ・惜しくも 4 位以内に入らなかったチームの中から、『敢闘賞』、『JR 東日本東北本部賞』を選出し、副賞を贈呈します。各チームの皆様は、表彰式に参加をお願いします。

6. お願い

- ・各区大会とコートサイズが異なり、大きくなります。各チームの皆様とも、空き時間等を活用し、コートの広さに慣れていただくことをお勧めします。
- ・試合の進行状況に応じて、練習用コートに試合を振り替える場合がございますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・視覚障害のある選手が競技を行う際、音を控えるようご協力をお願いします。

7. コロナ対策

- ① マスクの持参・着用（スポーツ実施時以外）、手洗い、手指消毒の徹底をお願いします
- ② 他の参加者等と十分な距離の確保をお願いします
- ③ 大きな声での会話などはご遠慮ください
- ④ 参加時の体調チェックをお願いします
- ⑤ 昼食などの飲食時は、間隔を取るなどの感染対策をお願いします

8. 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載の個人情報は、受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表・公式ホームページ等への掲載、大会主催者からの資料送付・情報提供に使用します。また、大会出場中における映像・写真・記事・記録等への掲載権は主催者に属するものとし、公式ホームページ等へ掲載します。

9. お問い合わせ 一般社団法人仙台市障害者スポーツ協会（担当：菊地）

〒983-0039 仙台市宮城野区新田東 4-1-1

TEL : 022-236-8690 / FAX : 022-236-8691

MAIL : info@sendai-dsa.jp

- (1) 全国障害者スポーツ大会のボッチャルールを準用するほか、ローカルルールにて実施します。
- (2) コートの大きさは12.5m×6mとし、スローイングボックスは2つに分けて使用します。
- (3) 1チーム3名のチーム戦で実施します。各チームは、試合ごとに選手を3名選出し、対戦します。
- (4) 組み合わせは、各組5チームによる総当たりの予選リーグ戦を実施し、予選各リーグの上位2チーム、及び、3位のうち上位2チーム（勝敗数、得失点差、総得点による）の合計8チームによる決勝トーナメントを実施します。
- (5) 試合は2エンド（先攻後攻を交互に1回ずつ）を行い、2エンドの総得点で勝敗を決定します。同点になった場合は引き分けとします。決勝トーナメントで同点の場合は、タイブレイク（決戦投球）で勝敗を決めます。
- (6) 先攻後攻はじゃんけんで決めます（先攻が赤ボール、後攻が青ボール）。ジャックボールの投球順序は、第1エンドは先攻（赤ボール）チームの選手、第2エンドは後攻（青ボール）チームの選手が行います。
- (7) 投球は、自陣の中であればどこから投げてもOKです。投球順序も自由です。ただし、審判の指示があってから投球してください。（投球は一人2球とします。一人で3球などの投球はできません。）
- (8) 各リーグの順位は、勝敗数、得失点差、総得点により決定します。それでも決まらない場合はタイブレイク（決戦投球）により決定します。
- (9) 棄権チームがでた場合は、対戦相手が3-0で勝利したものとします。大会当日、参加人数やメンバーに変更がある場合は、当日受付で変更届を提出してください（他の参加チームや応援者などからメンバーを補充してもOKですが、一人の方が複数のチームに所属することはできません）。受付後は、人数やメンバーの変更は不可とします。
なお、3名未満の場合は、オープン参加として扱います（決勝トーナメントへの進出や、表彰の対象にはなりません）。
- (10) 違反行為があった場合でも注意のみとし、ゲームを継続しますが、「ラインを踏む」、「ラインへの接触」、「審判の指示前の投球」は、違反とします（無効ボールになります）。
- (11) 介助者やサポートが必要な場合は、一緒にコートに入ってサポートができます（お子さんなどの助言もOK）。※介助者は投球ボックス内に一緒に入ってOKです。介助以外でサポートする場合は、ボックスの後ろで行ってください。介助者やサポーターには「介助ビブス」を着用してもらいます。「介助ビブス」は受付時にお渡ししますので申し出てください。
- (12) 用具は、主催者で用意します。
- (13) 試合中（エンド間）の選手交代はできません。

【ケース別対応集】

- ・ 各チームの最初の試合となる場合のみ、試合前に2分間のウォーミングアップを設けます。
- ・ 計時（時間測定）はしません。円滑な進行にご協力をお願いします。※あからさまな遅延などは注意する場合があります。
- ・ 試合中は、投球前にコート内に入り、ボールの状況を間近で確認することができます。ただし、進行の都合上、1エンドあたり各チーム2回までとします。
- ・ 違反（ラインを踏んで投球した場合や、同時に投球した場合など）があった場合は、違反のあった投球ボールが、有効ボールに当たり盤面が変わってしまった場合は、①主審副審で協議し可能な限り現状復帰します。②①が不可の場合はエンドをやり直します。
- ・ 相手が全ての投球を終え、有利な局面となった場合は、「投球をしない」こともできます。この場合は審判に宣告してください（アウトボールとして扱います）。
- ・ 審判が指示する前にボールを持つと違反になる場合がありますが、今大会は競技に親しんでもらうことを第一とし、持った場合では違反としません。